

# 特許出願済リスト(1/2)

	発明者	発明の名称	出願日	出願番号
1	岡崎 康司, 徳澤 佳美 油谷 浩幸, 堤 修一 若林 賢一	骨芽細胞分化マーカー、骨形成促進剤及び骨形成抑制剤	2009/03/13	特願2009-061208
2	浅原 弘嗣	I d 2 及び / 又は I d 3 の発現を抑制するための発現抑制剤、及びその利用	2009/03/10	特願2009-055911
3	米原 伸, 桐山 真利 石川 冬木, 斉藤 基樹	細胞増殖抑制剤及びそのスクリーニング方法	2009/03/05	特願2009-052628
4	白澤 専二, 藤本 崇宏 角田 俊之, 土井 佳子 小柳 緑	ZFAT 遺伝子発現抑制RNA	2008/09/08	PCT/JP2008/66155
5	井上 聡, 池田 和博	子宮癌、乳癌、及び膀胱癌の予防乃至治療に好適な二本鎖核酸分子、癌細胞増殖抑制剤、並びに医薬	2008/06/20	PCT/JP2008/61346
6	井上 聡, 池田 和博	前立腺癌及び膀胱癌の予防乃至治療に好適な二本鎖核酸分子、癌細胞増殖抑制剤、並びに医薬	2008/03/11	特願2008-060757
7	五條堀 孝, 池尾 一穂, 岡山 利次	相同性検索システム、相同性検索装置および相同性検索方法	2007/03/02	特願2007-052583; PCT/JP2008/053647
8	岡崎 康司, 八木研 水野 洋介	骨粗鬆症の予測分析方法、並びに、骨粗鬆症の治療剤及びそのスクリーニング方法	2007/01/31	特願2007-022359
9	岡崎 康司, 八木 研, 水野 洋介	間葉系細胞の分化抑制剤及び分化促進剤、並びに医薬及びスクリーニング方法	2007/01/31	特願2007-020893
10	高橋 智, 楊川 堯基 下畑 誉	Mafk / MafA 遺伝子改変非ヒト動物及び該非ヒト動物の作成方法	2006/12/22	特願2006-345839
11	柳川 弘志, 宮本 悦子, 鷲尾 尊規 石坂 正道	配列データの取得方法ならびにそれらを利用したターゲット遺伝子の抽出方法および蛋白質の設計方法	2006/12/06	特願2006-329313

(太字:GNP研究課題代表者 及び 分担研究代表者等)

# 特許出願済リスト(2/2)

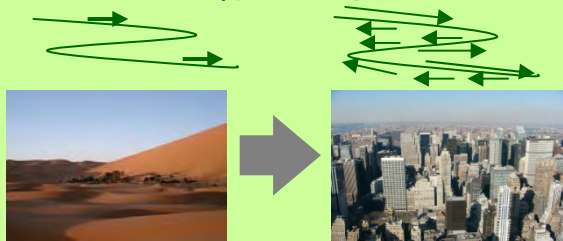
	発明者	発明の名称	出願日	出願番号
12	篠原 隆司, 篠原 美都	精原幹細胞のインビトロ増殖方法	2006/10/25	特願2006-290111
13	井上 聡, 池田 和博	子宮癌及び乳癌の予防乃至治療に好適な二本鎖核酸分子、癌細胞増殖抑制剤、並びに医薬	2006/06/20	特願2007-162641
14	岡崎 康司, クローチキン・イーゴル, シオンバッハ・クリスチャン	A Pharmaceutical Composition for Treating and Disorder Associated with Peroxisomal Biogenesis and Function	2006/06/09	PCT/JP2006/312085
15	関根 光雄, 清尾 康志 大窪 章寛, 田中 邦彦	オリゴヌクレオチド固定化固相担体	2006/03/10	特願2006-066396 PCT/JP2007/054645
16	関根 光雄, 清尾 康志 大窪 章寛, 坂本 一石 佐々見 武志	オリゴヌクレオチド誘導体, 遺伝子検出用プローブ及びDNAチップ	2006/02/28	特願2007-505962 PCT/JP2006/303772
17	林崎 良英, 鈴木 治和, 伊藤 昌可	II S型制限酵素を用いる翻訳終始コドンの除去方法	2005/12/15	特願2005-362337
18	関根 光雄, 清尾 康志, 大窪 章寛	固体支持体及びDNAチップ	2005/09/12	特願2005-263722
19	柳川 弘志, 宮本 悦子	遺伝子および/又は蛋白質のデータベースを用いた相互作用マップの作成方法、ならびに、それを実現するためのソフトウェアおよび装置	2004/11/22	特願2005-515680
20	柳川 弘志, 宮本 悦子 堀澤 健一	c - J u n蛋白質と複合体を形成する蛋白質、及び、それをコードする核酸、ならびに、それらの利用方法	2004/11/19	特願2005-516432

## 平成21年 4月以降 3件

	発明者	発明の名称	出願日	出願番号
21	井上聡, 池田和博	「糖代謝、脂質代謝、肥満、及び寿命を制御する制御遺伝子、及びタンパク質、並びにスクリーニング方法」	2010/01/14	特願2010-006021
22	影山 龍一郎、	多能性幹細胞からの神経細胞の分化誘導方法	2009/07/16	特願2009-168045
23	林崎 良英, 鈴木 治和, シンジェイ 鈴木 貴紘	転写因子探索方法	2010/01/08	特願2010-17419

## 「要素」の収集・解析

### 1. ゲノムの約70%が利用されている



昔のゲノムのイメージ  
砂漠の中にオアシスが点在する

今のゲノムのイメージ  
大都会のように遺伝子が密集している

### 2. 「RNA新大陸」

非タンパクコードRNAが大量に見つかった。タンパク質だけでなく、RNAも機能を持つ分子であることが分かってきた。



### 3. 医療応用の期待

応用領域は非常に広く、ほとんどのヒトの重要疾患をカバーする。

- ・ガン
- ・アルツハイマー
- ・糖尿病
- ・自己免疫疾患

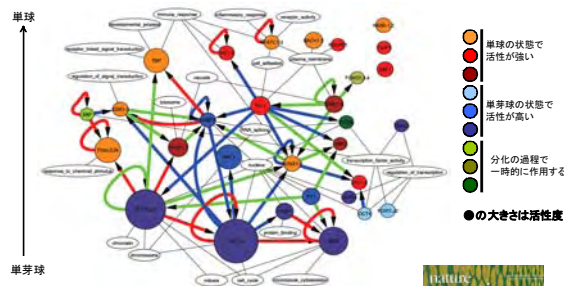


2005年9月2日付  
Science誌  
「RNA特集号」に掲載



## 「ネットワーク」の解析

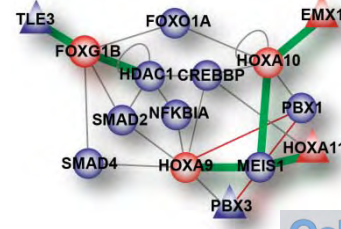
THP-1細胞株において、単芽球が単球に分化する過程を支配する30の重要な転写因子の制御ネットワーク解明。



2009年4月20日付  
Nature Genetics 誌  
「FANTOM4特集号」に掲載



転写因子相互作用の網羅的解析を実施。細胞のタイプを決める15個の転写因子からなる相互作用サブネットワークを突き止めた。



2010年3月5日付  
Cell 誌に掲載



## 国際的な取り組み

